

20名の
議員が
聞いた!

一般質問

3月議会では、20名の議員が質問に立ちました。
全質問項目は下記のとおりです。6ページからの本文は、
質問をした議員本人が要約して執筆しています。



6p **渡邊雄三** 議員
(公明党) **No.1**

1. 東日本大震災被災者支援について
2. 仮称116号バイパスについて
3. 高齢者の安心・安全について

6p **タナカ・キン** 議員
(無所属) **No.2**

1. 燕製金属酒器購入支援補助金について
2. 燕市観光モニュメントについて
3. (仮称)観光交流センター等整備運営事業について

7p **大原伊一** 議員
(輝翔会) **No.3**

1. 合併10年新たな都市作りへ挑戦の始まりである
2. 燕三条地場産業振興センターの行っている燕三条ブランドについて
3. 農業政策について

7p **山本知克** 議員
(大河の会) **No.4**

1. 生活困窮者自立支援について
2. 生活保護について

8p **樋浦恵美** 議員
(公明党) **No.5**

1. 男女共同参画について
2. 子どもの読書環境の充実について

8p **埴 豊** 議員
(スワロークラブ) **No.6**

1. 合併10周年を迎えて、これからの「まちづくり」にむけて

9p **堀 勝重** 議員
(輝翔会) **No.7**

1. 少子化対策について
2. 指定管理について
3. 安心・安全なまちづくりについて

9p **大岩 勉** 議員
(スワロークラブ) **No.8**

1. 市長の政治姿勢について
2. 選挙権年齢引き下げについて
3. 中学校の部活動について

10p **白井丈雄** 議員
(輝翔会) **No.9**

1. 水道行政について

10p **土田 昇** 議員
(日本共産党) **No.10**

1. 県央地域医療の問題点について
2. 国保税の問題点について
3. 介護保険の今後の対応について
4. 定年退職者の再任用について
5. 国道116号線のバイパス問題について

11p **渡邊広宣** 議員
(市民クラブ) **No.11**

1. 政治姿勢について
2. 新年度予算(案)について
3. 社会的弱者対策について

11p **柳川 隆** 議員
(市民クラブ) **No.12**

1. 教育行政について
2. 職員の定数について

12p **藤井秀人** 議員
(市民クラブ) **No.13**

1. 燕市の教育の展望について
2. 郷土の文化財と芸能保存について

12p **齋藤信行** 議員
(大河の会) **No.14**

1. 公有地の土地建築物の利用について
2. 大河津分水路について及び信濃川の決壊について
3. 除雪について

13p **小林由明** 議員
(輝翔会) **No.15**

1. 市民活動について
2. 日本とふるさとつばめの歴史について
3. 農商工連携について

13p **山崎雅男** 議員
(輝翔会) **No.16**

1. 生まれ変わる大河津分水路の抜本的改修に向けた状況について
2. 「燕はひとつ」の同一市内に固定電話で市外局番が必要なことについて
3. 生活排水等処理の対応策について

14p **吉田勝利** 議員
(輝翔会) **No.17**

1. 小学校・中学校・高校の子どもたちのスマートフォン等の使用について
2. 県央基幹病院整備について

14p **宮路敏裕** 議員
(日本共産党) **No.18**

1. 市民の安全・安心確保について
2. 旧燕工業高校の跡地利用について

15p **長井由喜雄** 議員
(日本共産党) **No.19**

1. 第6期介護保険計画と総合支援事業について
2. 安心して産み育てられる子育て支援について
3. 公契約条例の制定について
4. 県央大橋西詰周辺整備事業について

15p **山崎光男** 議員
(無所属・4/1～スワロークラブ) **No.20**

1. 全国に発信すべき地元遺産・燕遺産について
2. 市民に選挙にもっと関心を深めてもらう取り組みについて
3. 東日本大震災から5年、燕市における防災体制について

ひとくちメモ… 一般質問の人数に制限はありません。1人当たりの質問時間は30分以内です。
質問を行う議員は、事前に「こんな質問をします」という通告を書面で行います。
本会議における質問の順番は受け付け順となっています。

仮称・吉田バイパスの早期事業化について

問 仮称116号バイパスの着工については、昨年6月県議会の一般質問の答弁で、着工の時期は未定だが、早期事業化に向けて国に対し地域と連携して働きかけていくと言われている。その後、どのような検討がされたのか。今後の課題を含めて伺う。

答 決定権者の県の呼びかけで、実務者レベルの協議がスタートしたが、中断してから時間の経過とともに状況の変化もあり、再検証して早期の事業化に向けて国・県に働きかけていきたい。

問 東日本大震災から5年になる。自主避難者に対する住宅の無償提供は2017年3月末で打ち切りと決定されたが、市は、今後の支援をどう考えているのか伺う。

答 自主避難者に対する借り上げ住宅は廃止されるが、引き続き残ることを選択した人には、ほかの自治体の動向も注視しながら、今後の支援のあり方を検討していきたい。



渡邊雄三 議員(公明党)

問 高齢者の交通事故の発生状況と加害者の内訳と、交通事故ゼロに、どのような施策で取り組んでいくのか伺う。

答 近年の高齢者が加害者となっている交通事故は、26年51件・27年53件。高齢者関与の事故の割合が多く、減少への対策を講じる。今後、シルバーナイトスクールや、座談会形式の高齢者教室を開催したい。



吉田バイパス地元説明会資料

公共施設等総合管理計画について

問 少子高齢化による福祉予算の増大。人口減少による税収減が見込まれることから、公共施設の統廃合は避けられない。どのような考えで進めるのか。

答 全ての公共施設の維持管理・更新はできない、との危機感を持っている。幼稚園・保育園の統廃合、民営化や、分水保健センターの譲渡、勤労青少年ホームの集約化など順次見直しを進めている。3月議会中に公営住宅の方針を説明したい。

問 「きららおひさま保育園」の成功事例は、市内保育園・幼稚園の民営化の方向を示していると思うが、今後の幼児教育保育施設のあり方について伺う。

答 議員指摘のとおり、民間保育施設の良い点が発揮されている。今後とも、燕市幼保適正配置計画に沿って民営化も進めていきたい。

問 燕三条地場産振興センターの行っている燕三条ブランドのロゴマークの表記が、海外で誤



大原伊一 議員(輝翔会)

解を招いていると指摘されているが、見直しを提案してはどうか。

答 オーガニックライフスタイルの表現は、自然環境と人に優しい工業と農業、伝統と最先端が共存する地域の情報発信との意味が込められている。

問 商工観光部と農林部統合の、新たな政策方向性について。

答 産業全体の活性化のため、施策を連携して推進していきたい。



燕市社会福祉協議会の分水支所となっている旧分水保健センター

イッパンシツモンデ・ギインガ・グット・チカクナル

モニュメントは燕市に刺さったトゲである

問 モニュメントの今回の修繕について破損の原因は何か。

答 原因は定かではないが、風雨等々でゆがんできて、ボルトなどが破損してきた。

問 設置前から、必ずゆがみが出ると思いませんか。

答 その件については、当時の建設工事において一応完成検査を受けている。

問 修繕にかかる工事費が129万と思いませんか。

答 財務規則の第147条第3項第5号の規定により、随意契約で修繕工事を請け負った。



タナカ・キン 議員(無所属)



改修中の「燕市観光モニュメント」

9726円と聞いている。随意契約の工事に係るものが130万円以上なので、それはクリアをしている。財務規則で随意契約の場合、2社以上から見積もりをとることになっているが、今回1社だけなのはなぜか。

問 請け負った業者は塗装業者と聞いているが。

答 一部パーツが欠陥していると指摘を受け、土台の鉄骨部分の塗装及びモニュメントの修繕もできる業者に依頼した。

問 この業者は実績があるのか。

答 市の施設等で実績はないが、民間施設で看板等の整備が20件ほどあり、実績のある業者である。

生活保護・困窮者に正確な情報を

問 生活に苦しみ相対的貧困が増える中で、生活保護申請時に諸事情により拒否されることも多く、支給が難しいと聞かれますが、正しい情報で対応されているか伺う。

答 面談時、活動年齢期の方には、就労支援を促し自立の指導をするが、相談者への個別対応として、「車や田畑、借入金」があっても拒否をせず生活保護費を支給している。

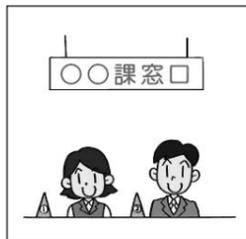
問 受給中の教育・就業訓練支援制度「生業扶助」と呼ばれる制度利用の受給者も9名お

り、就労していても最低生活費に到達していないなど問題を抱える世帯では、人数構成や年齢などを加味し48世帯に保護費を支給している。

問 問い合わせは直接窓口へお越しいただくか、電話でも受け付け、民生委員への相談にも対応する。



山本知克 議員(大河の会)



問 生活困窮者自立支援の実績・広報や面談時の対応について伺う。

答 昨年度窓口での相談件数は60件、就労件数は初年度4件。今年度は2月末までの相談件数で53件、就労された方は16名だった。

情報を必要としている方への周知は、相談内容を検討して市のホームページ上での掲載・パンフレットを改訂し、今後、産業会館等にも配置していく。面談はプライバシーに配慮し当事者以外の相談も受け付け、窓口ではなく別室にて行う。



樋浦恵美 議員(公明党)

女性の活躍、子どもの読書環境の充実を！

問 次期策定される「第3次燕市男女共同参画推進プラン」について、男女共同参画社会実現のため、さまざまな取り組みを行っていただきたいと思うが、市の考えを伺う。

答 新年度からスタートする第2次燕市総合計画の中において、女性が活躍しやすい環境づくりを重要な施策の1つとして位置づけ、女性が働きやすい職場環境の整備を行う事業所への支援や、女性同士の交流会、キャリアアップする研修会などに取り組み、女性の活躍推進に努めたい。

ていく。第3次推進プランに当たっては、燕市の特性に合わせた計画となるよう進めていきたいと考えている。

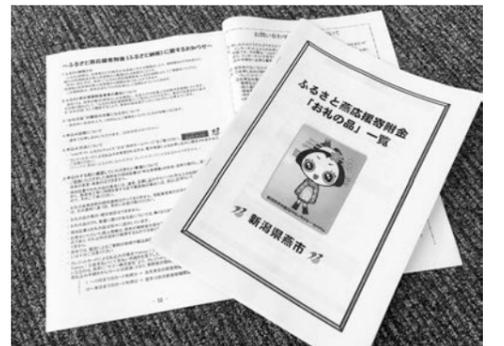
問 学校教育のスタートとなる小学1年生を対象に、「セカンドブック事業」として、心の宝となる本を贈る事業の導入を提案したいと思うが、市の考えを伺う。

答 「セカンドブック事業」については、読書の楽しさを知りきつかけとなることは承知している。まずは来年度から、学校図書館の蔵書を計画的に充実させていきたい。



「第3次燕市男女共同参画推進プラン」は平成28年度に策定されます

ミチカナ・モンダイヲ・キインガ・キキマス



問 「ふるさと納税」について、燕市では、平成27年度末には6億円余りの「ふるさと納税」が見込まれており、新潟県内第1位の金額である。「ふるさと納税」はマスクにも大きく取り扱われており、多い自治体では30億円、40億円規模の納税があり、さながら返礼品合戦の様相である。

返礼品を通して地域の魅力を情報発信することは、それ自体重要なことと考えているが、我がまちでは、全国各地から寄せられた善意の寄附をもとにして、いかなる施策を行い、いかなる成果を上げたのかを継続的に情報発信することが、「ふるさと納税」を継続していただき、燕市の交流応援人口を増やすことにつながると考えるが、いかがか。



埴 豊 議員(スワロークラブ)

「ふるさと納税」の今後

奨学金の一部免除制度の制定を！

問 少子化対策の1つの取り組みとして、奨学金制度を利用する方々に対して一定の要件を設けた上で、奨学金の一部免除を行うことや、また大学・専門学校等卒業後、燕市内に就職した者に対して、さらに奨学金の一部を免除するなどの奨学金の返還免除制度などを設けてみてはいかがか。

答 20年、30年、その制度が継続できるという意味での財源が、しっかり確立される必要があるが、常に一定のファンドが蓄積される仕組みをつくり上げることも課題である。言われる趣旨は十分理解できているので、いろいろな課題はあるにせよ、時間をかけながら研究を重ね、勉強をしていく必要がある。



堀 勝重 議員(輝翔会)

問 ミズノグループならではの事業の展開や効率的な管理運営がなされているところであるが、利用者から管理運営面が低下したといった声が聞こえてきている。どのような引き継ぎを行ったのか伺う。

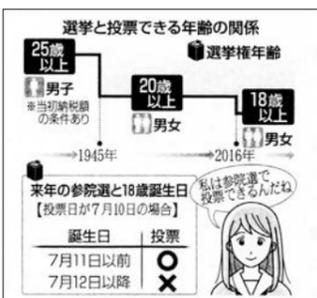


イツシヨニ・ツバメシノミライヲ・カンガエマセンカ

18歳選挙権啓発と期日前投票所再編

問 県央基幹病院の早期開院と、燕労災病院・県立吉田病院の今後の医療提供拡充に向け、燕市として行動することが「今」必要ではないか。

答 市民の悲願であり、県知事に要望書を提出し、県の責任で確実に課題解決を図るよう強く求めている。



問 さらなる投票率の低下が懸念されることから、高校や県選挙管理委員会と連携し出前授業を行う。再編計画は考えていないが、期日前投票所の増設は安全性の問題等総合的に検討して他市の事例を参考にし、今後検討を進める。

答 中学校の部活顧問指導には「B・OG」の協力要請を取り入れるべきではないか。勝利成績優先から市外の生徒募集はされていないか。

答 専門技術を持つ教員を学校の実績に合った配置は、今は難しいのが現状である。各種団体と地域の人々と連携した環境整備は大切だと思う。市外から生徒を募集していることはない。



大岩 勉 議員(スワロークラブ)

国保税改定、市長発言の整合性は



渡邊 広宣 議員(市民クラブ)

問 平成25年度に国保税が改定され、28年度、さらに値上げが実施される。27年度に7000万円、28年度に1億5000万円と、緊急避難的に法定外繰り入れを行うが、今まで市長は「財政運営に影響を来すとの理由で考えていない」と答弁してきた。その発言との整合性を伺う。

答 国保の医療費は加入者で補うことが基本で、医療費増に対して税率の引き上げが基本である。今回の激増は通常想定される範囲を超える事態



旧燕工業高校

問 大型事業、プロジェクトにおける手法、事業計画化において、市役所の取り組みを伺う。

答 民間事業者を事業主体として、財政負担を最小限に抑え、公共目的を最大限に達成する手法として取り組んできた。民間公募実施などにより、見えてきたものもある。目的達成には、行政として方向性を決め実施する手段として、民間能力を生かしたい。市役所も適切な判断・効果的実行のため、企画立案政策形成の能力向上に努めていく。

ツギノ・ギカイハ・ロクガツ・デス

水道事業更新対策に係る計画諸元について



白井 丈雄 議員(輝翔会)

問 給水需要の今後の予測は。受水費の意味は。新浄水場の建設候補地の見込みは。広域水道についての考えは。浄水施設能力の決定方法は。新浄水場建設に伴うバックアップは。現浄水場の耐震性は。会計処理方法について伺う。

答 有収水量は人口減少等の理由で年々減る状況。新浄水場の建設候補地については、効率的な施設と非常時においても安定供給が可能な所を選定したい。広域水道については、現在策定中の基本計画で隣接する水



浄水場施設(イメージ)

問 水道料金改定について、他市村からの受水料金はどう調整するのか。また、市村からの繰入金は必要としないのか。

答 他市村から受水しているものについては今までもおりで変わりなく、市からの繰入金については企業努力で収益を上げること考えている。

問 今後の流れについて、各区での説明会を開催する予定であるが、開催回数や開催場所についてはどのように進めていくのか。

答 今後、詳細について詰めていきたいと考えており、今年度の5月に予定される自治会長協議会にまず説明していきたい。

道事業体との検討を進めていきたい。浄水施設能力の決定については、使用水量の実績・人口の将来推計なども踏まえて決定したい。耐震性は危険性がある。バックアップについては、基本計画の中で十分に検討したい。

県央地域医療の問題点について



土田 昇 議員(日本共産党)

問 県央基幹病院の早期整備に係る要望書の中で、「地元病院の跡地利用について、」とあるが、地元の方々と話し合うべきと思う。市長はどのように対応するのか伺う。

答 地元住民の声を聞くことも大切であるが、私としては、何がしかの県有施設の設置を要望していくことが最初の選択肢だと思っている。その辺のやりとりの方向性が見えてきた段階で「この案だったらいかがでしょうか」と地域住民の意見を伺う。そんな手順で考えていきたいと思う。

問 要望書では、県立吉田病院の機能拡充と早期改築を行うこととしているが、今後どのように対処・対応していくのか伺う。

答 12月の県議会において、新年度に有識者等が参加して、吉田病院の医療提供体制に関する検討会議を設置したいと県から方針が示され、この3月の県議会でもそのようなやりとりがあったと



燕労災病院

聞いている。早期に県立吉田病院のあり方を検討するという意欲は県も示しているというふうに、評価したいと思っている。燕市としては、何らかの形でこの会議に出席できるようにお願いしていきたいと思う。

Jack&Bettyと職員定員適正化計画の件



柳川 隆 議員(市民クラブ)

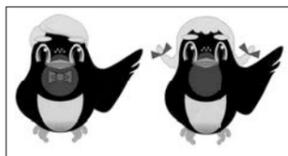
問 市民の3分の2の人は職員の数が過剰だと思っている。現状を、当局はどう思っているか。

答 現行の条件で引き継ぎ、実施していきたいと考えている。

問 スピーチコンテストに応募する際、小学生ならジュニア検定Bクラス以上の受験、中学生なら通知表が平均4以上を付帯条件につけたらどうか。

答 英語スピーチコンテストと兼海外派遣選考で選ばれた児童・生徒等を引率された先生が、帰国報告会で「自分は英会話というツールを使って、語るべき中身がないことに気づき愕然とした」と述べられたが、このことをどう思うか。

答 本事業の意義を改めて認識し、これからも継続・発展させていきたい。



Jack & Betty

問 類似団体との比較から見ても、燕市の人員が特別過剰だという認識には立っていない。

答 職員定員適正化計画は職員のみで策定されているが、外部の人からも策定に加わっても良かったほうがいいと思う。なぜなら、石原慎太郎氏が東京都知事1期目当選の翌日、当時は財政再建が喫緊の課題であったので、すぐ内部監査をやりますか、と聞かれ「内部監査というのは泥棒に手を預けるようなものだから外部から人を入れてやる」と言われたのを憶えているから。

問 行革推進委員には市内の企業の方や有識者が参加されたい。

答 行革推進委員には市内の企業の方や有識者が参加されたい。

今後の燕市の教育施設の統廃合は？

問 保育園の定員充足状況も踏まえ、保育園や幼稚園のさらなる統廃合の予定はあるか。

答 燕市の実情に合った運営ができるように、幼保一体化や民営化など幼稚園・保育園の適正配置に取り組んでいく。

問 小中学校の統廃合に関する基本的な考えと、今後の予定はどうか。

答 小中学校の統廃合は、よりよい教育環境整備のため、適正配置を常に検討している。現在は小規模化して複式学級になるなどの支障が出たり、不都合が生じたということはない。今後の児童数の推計も、今の小規模校でも、平成32年度ぐらいまで横ばいで、今のところ小中学校の統廃合は考えていない。

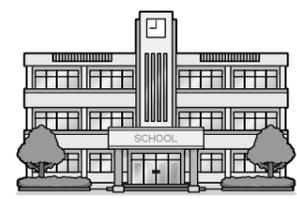
問 教育施設内の冷房設置状況は。

答 幼稚園・保育園及び認定こども園では、夏休みなどの長期休業の期間のある幼稚園を除くと、4月には全ての園で乳児から3歳児室に冷房設置が完了する。

4・5歳児は随時導入を進めており、未設置は4園、小中学校では普通教室は小学校1校のみ、中学校は全て設置されている。

問 市内に国・県・市の文化財はどれくらいあり、市からの補助金を出して管理されている文化財はあるか。

答 国が13件、県が10件、市が71件ある。保存修理などで合併後12件、法令条例に基づいて交付している。



藤井秀人 議員(市民クラブ)

市民活動とソーシャルビジネス、住民の持つ可能性の発揮

問 市民活動の継続性や発展性を考える上では、活動団体の経済的自立も促進していく必要があると考えるが、いかがか。

答 補助金に頼らず、資金を自ら確保し経済的に自立して活動していくことは、重要である。今後、活動資金の確保に焦点を当てたセミナーを開催するなど、市民活動団体の経済的自立に向けた意識啓発を図っていきたくと考えている。

問 社会的課題をビジネスとして解決する、いわゆるソーシャルビジネスやコミュニティビジネスの推進をどのように考えているか。

答 古事記・日本書紀には、先祖の願いや決意が託されていると考える。小中学校において、建国の物語はしっかりと伝えていきたいと思うが、いかがか。

問 古事記・日本書紀に記された建国の物語には、先祖の願いや決意が託されていると考える。小中学校において、建国の物語はしっかりと伝えていきたいと思うが、いかがか。

答 古事記・日本書紀は、当時の日本人の心や考え方をしっかりと学ぶための大切な教材である。学習指導要領にのっとって指導していきたい。



小林由明 議員(輝翔会)



空地を活用したイベント。市民活動はビジネスとしての可能性も秘めている

イツショニ・ツバメシノミライヨ・カンガエマセンカ

公有地の土地、建物の利用について

問 旧分水学校給食センターの今後の利用をどう考えているか。泉新市営住宅の今後の方向性はどうか。旧中島保育園の敷地の方向性はどうか。

答 旧分水学校給食センターは、旧燕工業高校や旭町倉庫などの埋蔵文化財の保管場所として活用したい。泉新団地は、今は1棟・1世帯のみで、全て移転後に土地利用を考えていくとしていたが、土地もあり、福祉事業者に対し跡地利用が可能か調査している。旧中島保育園の跡地は、中島と西蒲土地



齋藤信行 議員(大河の会)



旧分水学校給食センター

改良区が所有しており、自治会と有効活用を検討したい。

問 明治29年7月の「横田切れ」から120年。国と連携したイベントを開くそうだが、どんなイベントになるのか。信濃川が決壊した場合、燕三条駅の線路まで水位が上がると言われている。県央基幹病院を須頃地区に建設するなら、水害に対応できる基幹病院を、中之口川改修の早期実現とあわせて県に強く要望できないか。

答 「横田切れ」は、大洪水を風化させず、治水や利水を広める機会となるようイベントを実施する。須頃地区・井土巻地区は、万全なる排水処理施設設置の必要がある。あわせて、中之口川の下流域の堤防改修もしっかり行ってもらうことなど、引き続き県に申し入れていきたい。

大河津分水路の改修事業について

問 大河津分水路改修事業、河口部左岸部の山地部を掘削し、180メートルの川幅を100メートルに拡張して、280メートルとした。この中で、膨大な掘削発生残土約1000万立方メートルの河川拡幅に伴う残土利用と、長岡市との関わりについて伺う。

答 発生土については、一部は浸透対策の堤防拡幅として使用する。長岡市とは連携し、国と十分に協議をしていきたい。



大河津分水水洗堰

景観・環境等を阻害するおそれがあるが、地域住民の理解を得て進めるのが手順ではないか。

答 西部工区委員会に提案した段階で、盤上げ・圃場整備は、地権者全体の合意形成が必要であり、取り組むなら土地改良と共に全面的に協力したい。

問 新長自治会等に不安を抱かせずに、最大限配慮して取り組んでいただきたいが。

答 不安解消に向けて、情報交換・情報提供を進めたい。

問 河川環境整備・保全や動植物・生息・生態等に影響する懸念があるが、水辺空間の充実に向けて協議すべきでないか。

答 環境整備・生態系維持保全・自然環境維持等は、今後検討する。

問 燕市同一地内で市外局番が必要。市民にとって違和感があり、不便で、地方公共団体として一体性が損なわれるが。

答 関係する自治体と連携をとり、総務省等に要望したい。



山崎雅男 議員(輝翔会)

水道町保育園の老朽化は深刻



長井由喜雄 議員(日本共産党)

問 保育施設整備については、28年度予算内での整備事業が何カ園が挙げられているが、水道町保育園では、未満児室の床暖房と、午睡室^{こすいしつ}ともなる遊戯室の床暖房も故障し、建物にも大きな亀裂が見られるなど、早急に対応が必要な園もあるのが現実だ。子どもの住環境には、最低限の保障が必要と考える。対応についてどうするのか。

また、公立保育園における非正規保育労働者の数は、60・8%と異常とも言える数字と

答 水道町保育園については、現在遊戯室ではエアコン4台で対応し、未満児室は、故障箇所にもマットを敷き、温風ヒーターでそれぞれ対応している。今後とも子どもたちの安心・安全な保育環境の整備に努めていきたい。保育士は40歳代後半の年齢の一部に年齢構成が薄い層があるが、平成19年度から平成24年度まで年齢の上限を35歳とする保育士の採用試験を実施してきたことにより、職員の層を厚くすることができた。



2階の未満児室外には大きな亀裂が左右数カ所入っています

燕労災病院跡地利用は地域住民の最大関心



吉田勝利 議員(輝翔会)

問 入学進級のシーズンとなり、お子さんにスマートフォンを購入する親の方も多いことと思うが、その際に必ずやっておくべきこととして、①スマホの取り扱いに関しての大切なこと・守らなければならないことを、親子でよく話し合うこと ②スマホを買うときは、販売業者の説明をよく聞いて納得させてからにすること ③スマホのフィルタリング設定は、ネット犯罪の被害から大事なお子さんを守るためには、やらなければならない絶対条件である

問 燕労災病院跡地の問題について何よりも大事なことは、燕労災病院を誘致するために大変苦労した方々や、今まで燕労災病院があることで安心して生活を過ごされてきた人々におもひがかかること、さらにこの地域の、そして燕市民が納得する跡地の利用をすべきではないか。

答 跡地はしっかりと考える必要があり、地域住民の要望をしっかりと受けとめ、県に訴える。



燕労災病院

旧燕工業高校跡地利用について



宮路敏裕 議員(日本共産党)

問 事業者から提案を募集したが、生かすことは何か。

答 特別養護老人ホーム設置のほか、スポーツゾーンならば、プロチームを活用した教室の開催・運営など。また、工業技術の継承と創出の場合ならば、研究型ベンチャー企業を呼び込むための施設運営など、どう生かせるか検討する。

問 市民の利益にかなうために、十分な時間もかけ、周辺住民とも合意形成を図ることが必要ではないか。

答 民間の提案は、周辺自治会長さんからも審査委員としてチェックしてもらった。建設に当たっては、今後も、自治会の皆様に説明会も開き、難儀をかけないような形で建設事業に携わっていきたい。



旧燕工業高校のグラウンド・校舎

問 原子力災害に備えた燕市避難計画(案)の中で、高齢者や障がい者などの対応について、問題点は何か。

答 30キロ圏内5つの自治会から、隣近所で協力し合う方法について報告を受けた。住民説明会や訓練を実施して、実効性を高めていきたい。

問 渡部右岸の住民は、30キロ圏外のため避難計画の対象外となっている。左岸・右岸一体の避難を望む声があるが、変更してはどうか。

答 30キロ圏外は、今後、県の方針を踏まえ避難計画を調整していくが、渡部の皆様がそういう気持ちであるということならば、真摯にお聞きしていきたい。

燕市民・職員の防災意識の向上を



山崎光男 議員(無所属 4/1~スワロークラブ)

問 燕市は、昨年7月5日にシェイクアウト訓練を含む総合防災訓練を行ったが、その成果と検証について、また今後の防災力を高めるための取り組みについて何う。

答 シェイクアウト訓練の参加者が、燕市の人口の約2割に達したということは、市民の皆さんの防災意識の向上につながったと考えている。今後は、防災リーダー養成講座と長善館学習塾を合わせて防災キャンプを行うなど、防災教育の充実に取り組みたい。



東京都民だけでなく、全ての人に役立つ防災ブック『東京防災』

問 燕市名誉市民全員の業績を一堂に集めた記念館や偉人館、または既存施設の一角などを常設で観覧できる場所をつくれなどうか。

答 玉川宣夫さんの作品は産業史料館、鈴木虎雄さんの品々は長善館など、名誉市民それぞれの業績を顕彰するのにはふさわしい場所がある、燕市名誉市民10名全員を一堂に集めるのは難しいが、生誕100周年などの臨時的な展示は今後考えたい。

問 今年の参議院選挙から、18歳選挙権が初めて適用される見通しである。未成年者への選挙啓発について、6月議会以降の進捗状況は。

答 新たな取り組みについては、昨年12月、燕市の選挙管理委員会としては初めてとなる出前授業を分水小学校で実施したり、選挙啓発のチラシを作成し、昨年度卒業した高校3年生に配布したりしてきた。